

家族とジェンダー

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・上田耕介

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：21

■ 授業概要

看護の実践において患者とともに重要な位置づけを有する存在が家族である。ケアによっては、患者だけでなく、家族も対象となる。看護師にとって無視できない存在としての家族は、歴史的にも大きな変化を見せているだけでなく、今日においてその多様化が著しい。こうした家族の多様性、さらには患者の個別性を視野に入れたケアを考える時、ジェンダーをはじめとする、社会における性のあり方について考える視点も欠かせない。講義では、家族の機能や類型、現代日本社会における家族とジェンダーについて基礎的な解説を行うことによって、これから看護師を目指す人が、これらの領域について考える際の基礎的な視点の獲得を目指す。

■ 到達目標

1. 家族に関する基本的な知識を理解することができる。
2. ジェンダーに関する基本的な知識を理解することができる。
3. 現代社会における家族の変容について理解することができる。
4. 講義内容で学んだ内容を看護について考える際に活用することができる。

■ 教育内容

科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解

■ キーワード

家族類型、家族の機能、近代家族、ジェンダー、性別役割分業、少子高齢化、介護

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	「家族」とは何か	家族についての基礎概念、家族の機能について解説する。（講義）	上田
2	ジェンダーとは何か	ジェンダーについての基礎概念、その多様性、現代における変容について解説する。（講義）	上田
3	家族の諸類型	家族の多様性と歴史的変遷についての諸説を、ジェンダー問題と絡めながら解説する（講義）	上田
4	日本の家族	日本の伝統的な家族形態について解説する。（講義）	上田
5	現代家族の変容	現代家族の変容について、性別役割分業、規模縮小、核家族化、個人化などの視点を絡めて解説する。（講義）	上田
6	結婚と少子高齢化	少子化の実態と結婚の変容について、様々なデータや外国の事情を参照しつつ解説する（講義）	上田
7	福祉医療と家族	福祉医療において家族が占める地位を解説する。（講義）	上田
8	これまでの講義内容のふりかえり	これまでの講義内容のふりかえりを行う。（講義）	上田

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

期末レポート 100%によって評価する。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

毎回、授業後にコメントの提出を求める。次回講義の冒頭にそれに応答する。希望者に対して、レポートのフィードバックを行う。希望者は、事前にアポイントをとったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。

■ 教科書

講義は、講師が用意した資料によって行う。

■ 参考書・参考資料等

- ・石川ひろの他著（2024）『系統看護学講座－基礎分野 社会学 第7版』医学書院
 - ・園井ゆり他編（2022）『家族社会学 基礎と応用 第4版』九州大学出版会
- 以上の他にも、講義において参照すべき文献を紹介する。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

受講後、講義内容のふりかえり、重要な点の復習を1～2時間程度すること。この他、講義の前後に予習・復習の課題を提示することがある。

■ 担当教員からのメッセージ

家族と、家族に密接に関係するジェンダーは、人々のアイデンティティに関わる非常に重要なものです。これらについての基礎的な知識は、現代社会を理解する上で不可欠ですし、ケアの現場でも、これらに対する配慮が欠かせません。患者さんや家族の方々に寄り添う看護師を目指すべく、理解を深めていきましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 13、uyeda★iwate-uhms.ac.jp（※メールの際は★を@にしてください）、オフィスアワーは特に定めませんが、事前に連絡してから訪問のこと。

■ 担当教員の実務経験の有無

無

■ 担当教員の実務経験

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容